

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年11月28日(2024.11.28)

【公開番号】特開2024-30156(P2024-30156A)

【公開日】令和6年3月7日(2024.3.7)

【年通号数】公開公報(特許)2024-043

【出願番号】特願2022-132760(P2022-132760)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 3 E

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月20日(2024.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

複数のリールと、

複数のリールの回転を開始させるために操作されるスタートスイッチと、
を備え、

ウエイト音が出力可能であり、

リール始動音が出力可能であり、

最小遊技時間経過前にスタートスイッチが操作されたときは、スタートスイッチの操作からリールの回転開始までの間に、始端から終端までの長さが時間「T1」のウエイト音を繰り返し出力可能であり、

リールの回転開始時には、始端から終端までの長さが時間「T2」のリール始動音を1回出力可能であり、

ウエイト音の始端から終端までの時間「T1」は、リール始動音の始端から終端までの時間「T2」より長い

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明(第12実施形態)は、

複数のリール(31)と、

複数のリールの回転を開始させるために操作されるスタートスイッチ(41)と、
を備え、

ウエイト音が出力可能であり、

50

リール始動音が出力可能であり、

最小遊技時間（前回遊技のリールの回転開始時から 4.1 秒）経過前にスタートスイッチが操作されたとき（図177中「X52」のタイミング）は、スタートスイッチの操作からリールの回転開始までの間（図177中「X52」から「X53」までの間）に、始端から終端までの長さが時間「T1」（「0.4」秒）（図177中「T11」）のウエイト音を繰り返し出力可能であり、

リールの回転開始時には、始端から終端までの長さが時間「T2」（「0.3」秒）（図177中「T12」）のリール始動音を1回出力可能であり、

ウエイト音の始端から終端までの時間「T1」は、リール始動音の始端から終端までの時間「T2」より長い

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50